

基本情報



【年齢】
49歳
【出身地】
富山県 砺波市
【転出元】
埼玉県 和光市
【前職】
カメラマン
【活動時期】
R2.10～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

仕事で岩手県をはじめとする東北地方へ訪れることが多く、そのたびに東北地方特有の古くから残る生活や文化、芸術に魅了され、もっと深く知りたいと思うようになりました。次第に東北地方に移住したいと考え始め、意を決して東京有楽町にあるふるさと回帰支援センターを尋ねました。そこで岩手町地域おこし協力隊「しごとクリエイター」の募集を知り、以前からの目標であります写真スタジオを岩手町で開業したいと考え応募しました。また、自分が魅了された東北地方特有の生活、文化、芸術などを自分の写真作品として残していきたいことも応募理由であります。

今後の抱負・任期後の目標

任期後の目標は、岩手町に写真スタジオを開業することです。そこで一般のお客様用の家族記念写真、事業者様の広告用商品撮影などを行い、不定期ではありますが写真に関します講座やワークショップなども開催したいと考えております。その目標のために今後は写真スタジオの整備を本格的に行っていきます。写真が好きな人、学びたい人が気軽に立ち寄り、雑談などができるようなオープンな空間にしたいです。

活動内容

●IWATEMACHI写真講座

7月に写真の楽しさを知ってもらうことを目的とした写真講座(全3回)を開催しました。受講生はカメラまかせのフルオートではなく、自分でカメラを操作しカメラに撮らされているのではない「自分の写真」を撮ることを目指しました。受講生は初心者の方が多く、優しくシンプルに伝えることに苦労しましたが、無事に講座を終えることができました。(10月に第2回目開催予定)



●岩手町写真素材収集(共有)

役場関係者の方が中心となってしまいますが、自身が撮影した岩手町の写真を、いつでも自由に使用してもらう目的でGoogleフォトにて写真共有を行っております。自身この活動を始めてから岩手町の豊かな自然や伝統ある祭りなどを体感し、町に対しての愛着が湧きました。今後は、岩手町のもっと深い部分を掘り下げ撮影していきたいと意欲に満ちております。

※写真使用例(広報いわてまち11月号「モビリティコート」)



●岩手町事業者様の商品写真撮影

岩手町には、家具職人、工芸作家などが素晴らしい作品を作っています。それらを写真として納めたいと思い、始めました。普通に定常光で撮るのではなく、大型ストロボを使用した光による演出も加え、どう撮ればそのもの自体が魅力的な写真になるかを研究しています。また撮影した写真を本人にプレゼントすることで、コミュニケーションをとる良いきっかけ作りとなっております。

※写真(岩手町家具工房 T-factory 地産材使用ベンチ)



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(ホームページ) <https://oimatu.hp.peraichi.com/iwatemachi.lvc>